

未来ワークショップ

- 未来カルテを用いて、地域の将来を担う中高生や若手社会人に、このまま推移すると2050年になにが起こりうるかを伝え、未来市長として、政策提言を考えるワークショップ
- 2015年に千葉県市原市で最初に開催。



現市長と未来市長の記念写真



市原市の中学三年生主体の班の成果物



まちあるき
とワーク
ショップ



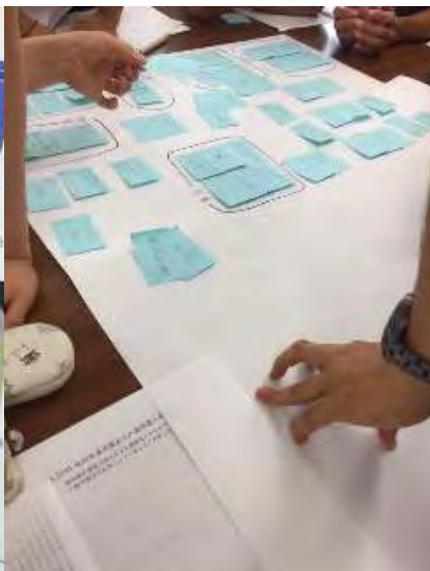
事前配付
資料抜粋

にしのおもて
未来ワーク
シヨップ

2018年8月29日@鹿児島県西之表市
中学生15人、高校生22人参加



現市長からの挨拶
を受ける未来市長



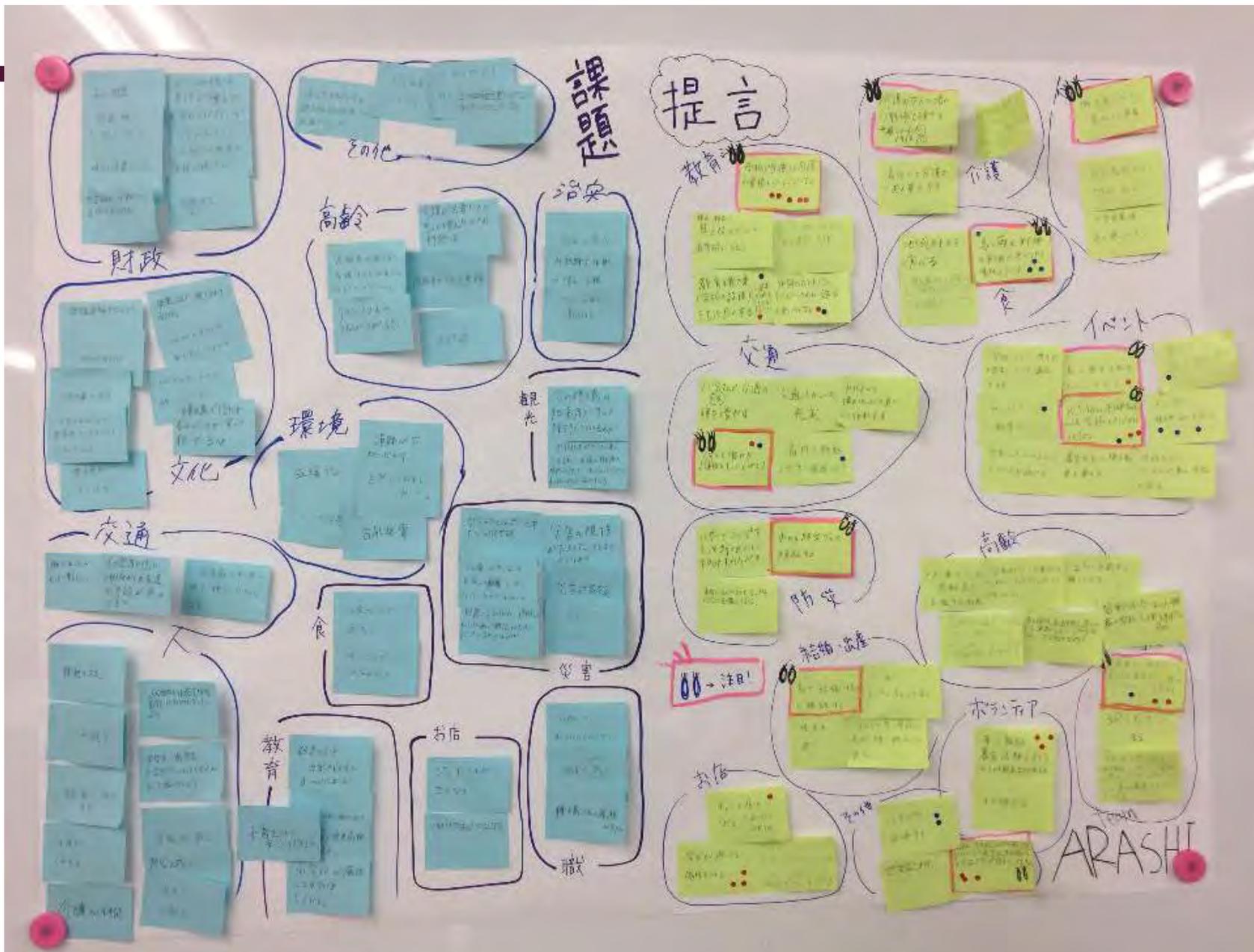
現市長に提言する
未来市長（上右）



模造紙を囲んでア
イディア出しを行
う（下左）



全体記念写真（下
右）



当日の成果物

午前中に未来カルテ情報などをインプットし、午後に未来市長が直面するであろう課題の書き出し（左半分）と、それを回避するために今から行うべき政策の書き出し（右半分）を行う。政策については、他の班の気に入った政策に「いいねシール」を貼って相互評価する。

未来ワークショップ参加者事後アンケート結果

「ワークショップに参加したことで、前よりそう思うようになった」を選択した参加者割合

	八千代	館山	松戸	九十九里
(開催地の) 市が好きだ	45%	82%	82%	33%
(開催地の) 市に貢献したい	75%	89%	86%	75%
(開催地の) 市の問題もっと知りたい	70%	70%	77%	50%
社会・地域問題をもっと話し合いたい	40%	57%	55%	25%
私に関われば現状を変えられる	60%	36%	41%	25%
私に関われば市の決定に影響を及ぼせる	50%	39%	36%	33%
市の問題について関係者が話し合う場に参加したい	45%	61%	64%	42%
市の問題について関係者が話し合う場を作りたい	40%	50%	55%	42%
市の問題に対して関係者に意見を届ける活動に参加したい	40%	68%	45%	33%
(開催地の) 市のリーダーになりたい	20%	25%	27%	17%
(開催地の) 市の問題をよく知っている	50%	39%	45%	33%
長期視点で考えることができる	50%	55%	64%	33%
未然防止の観点を考えることができる	55%	52%	64%	42%
効果的な戦略を考えることができる	50%	52%	45%	33%
多様な主体を巻き込んだ戦略を考えることができる	25%	48%	45%	33%
チーム協働作業ができる	50%	55%	73%	33%
立場や意見の異なる人と協働できる	65%	70%	77%	42%
市の問題解決には個人で行動するより人と協働したほうが効果的だ	—	82%	82%	58%
他の人と協働して市の問題に取り組まなければ危機的状況になる	—	59%	68%	67%
他の人と協働して市の問題に取り組むことは私たちの責任だ	—	61%	73%	33%
事後アンケート回答数 (回収率：八千代95%、館山・松戸・九十九里100%)	19	44	22	12

左の結果のランキング

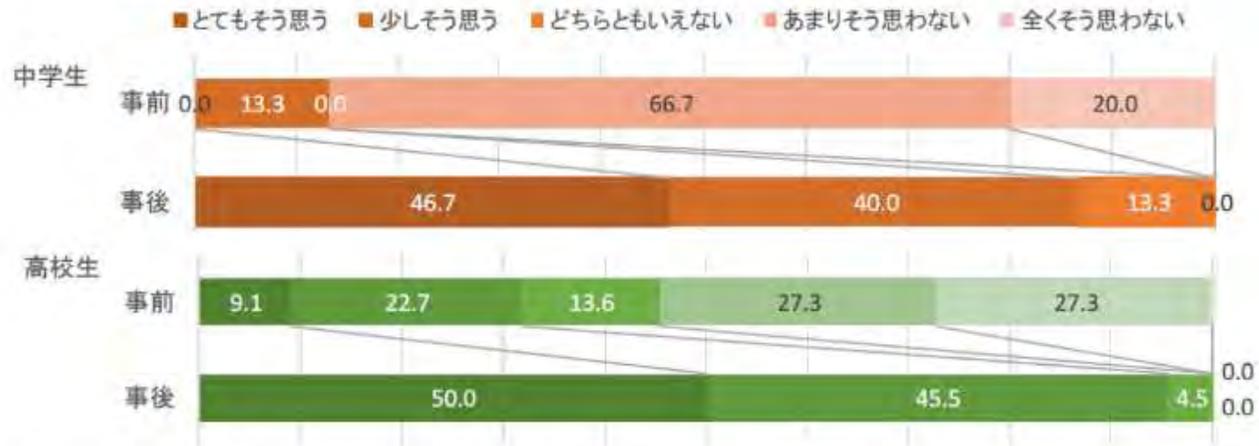
	八千代	館山	松戸	九十九里
(開催地の) 市が好きだ	11	2	2	9
(開催地の) 市に貢献したい	1	1	1	1
(開催地の) 市の問題もっと知りたい	2	4	4	4
社会・地域問題をもっと話し合いたい	13	10	12	18
私に関われば現状を変えられる	4	19	18	18
私に関われば市の決定に影響を及ぼせる	6	17	19	9
市の問題について関係者が話し合う場に参加したい	11	7	9	5
市の問題について関係者が話し合う場を作りたい	13	15	12	5
市の問題に対して関係者に意見を届ける活動に参加したい	13	6	14	9
(開催地の) 市のリーダーになりたい	18	20	20	20
(開催地の) 市の問題をよく知っている	6	17	14	9
長期視点で考えることができる	6	11	9	9
未然防止の観点を考えることができる	5	13	9	5
効果的な戦略を考えることができる	6	13	14	9
多様な主体を巻き込んだ戦略を考えることができる	17	16	14	9
チーム協働作業ができる	6	11	6	9
立場や意見の異なる人と協働できる	3	4	4	5
市の問題解決には個人で行動するより人と協働したほうが効果的だ	—	2	2	3
他の人と協働して市の問題に取り組まなければ危機的状況になる	—	9	8	2
他の人と協働して市の問題に取り組むことは私たちの責任だ	—	7	6	9

事後アンケートで「参加したことで、前よりそう思うようになった項目」を複数回答で聞いたところ、市に貢献したい、市の問題を知りたい、いろんな人と協働できる、協働が効果的という項目を選ぶ参加者が多いことがわかっている。

やちよ未来ワークショップ (2016年11月) 参加者数20、回答数19 たてやま未来ワークショップ (2017年8月) 参加者数43、回答数43
 まつど未来ワークショップ (2017年10月) 参加者数22、回答数22 くじゅうくり未来ワークショップ (2019年9月) 参加者数12、回答数12

にしのおもて未来ワークショップでの事前／事後アンケート結果より抜粋 (2018.8.29 中学生15名、高校生22名参加)

西之表市で起こっている問題について調べたことがある／もっと調べてみたいと思う【意欲・関心】

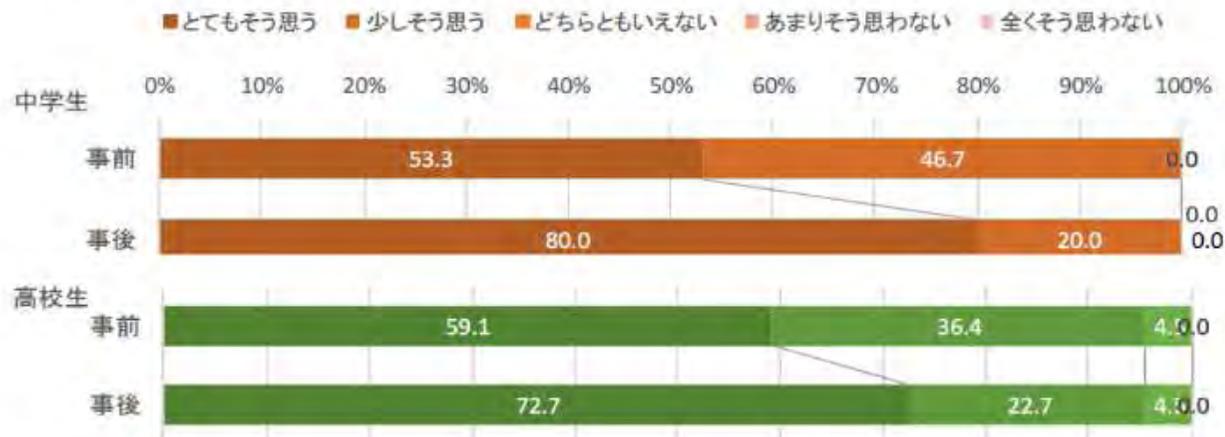


西之表市で起こっている問題について知りたいと思う／もっと知りたいと思う【意欲・関心】

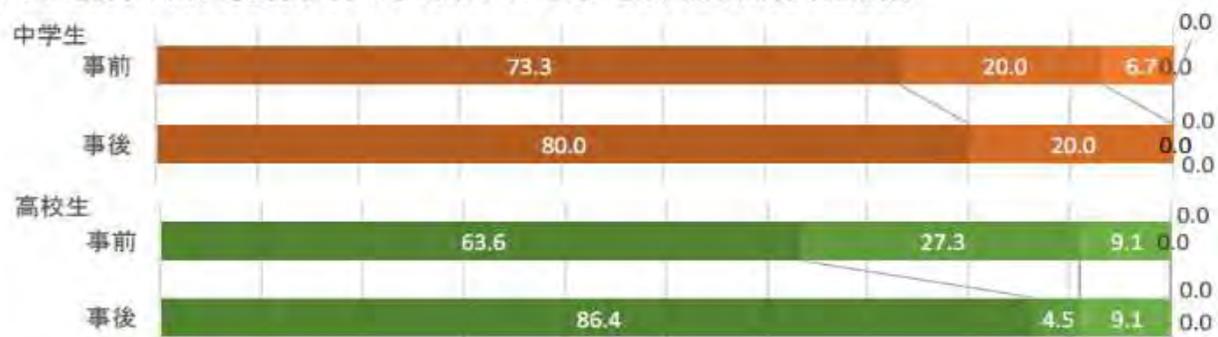


にしのおもて未来ワークショップでの事前／事後アンケート結果より抜粋 (2018.8.29 中学生15名、高校生22名参加)

西之表市や種子島の一員として地域に役立つことをしたいと思っている【意欲・関心、主権者】



未来の西之表市や種子島を自分たちの手で良くしていきたいと思う【意欲・関心、主権者】



栗島英明・谷田川ルミ・中井美和「にしのおもて未来ワークショップ報告資料」2018年11月6日

東北大学大学院環境学研究科における実験ワークショップ（2017年7月13日）

- 未来ワークショップの効果を確認するために、東北大学大学院環境学研究科集中講義「先進社会環境学演習Ⅰ」の受講者41名（おもに理系）を対象に実験ワークショップを行った。
- 未来カルテ説明前の政策提言と説明後の政策提言の内容を比較するものである。
- ワークショップの進行
 - アイスブレイク（マトリクス自己紹介、並び替え）
 - 仙台市長に提言したいことのアイディア出し、とりまとめ
 - 仙台市の未来カルテの説明（項目ごとにメモ取り時間を設ける）
 - 未来カルテを踏まえて仙台市長に提言したいことのアイディア出し、とりまとめ
 - ＜アイディア出しに当たっては、ワールドカフェ方式で他班に移動し、途中で他班の作業状況を見る時間を設けた＞

道路整備 9件

- 道路網の整備
- 仙台市内における道路整備広く、わかりやすく
- 仙台を囲むような環状線を作る道路
- 住宅街は道狭いから広くしてほしい

道路整備 17件

- 仙台市中の道路を走る自家用車を制限し、自家用車を利用している人に地下鉄を利用させる
- 中心部への車の乗り入れの禁止
- 混雑する道路では路駐禁止、時間帯によって走行用、タクシー用、バス用
- 道路を広くして路駐エリアを設ける
- 交通マナー強化期間みたいなのを設けて定期的に取り締まる
- 路駐見つけて通報したら賞金
- 仙台市内における交通ルールを警察の取り締まりで徹底する
- 路駐見つけて通報したら賞金
- 小学生に交通安全標語をつくらせウインカーを出せと促す
- 駐車、駐車設備の増加、無料化の政策

観光 8件

- 観光地循環バス（温泉地の松島など）夏期、GWなど
- 観光地、名所のアピール（ツアー等）
- 観光客は公共交通機関を安く使える（観光地の活性化）
- 駅沿線の観光スポットを設定し広報する

シンボル 3件

- 仙台市内のシンボル（タワーなど）

公共交通機関 27件

- 公共交通網の拡大
- 公共交通機関の利用料金の引き下げ

交通マナー 路駐取締 17件

- 路駐見つけて通報したら賞金
- 小学生に交通安全標語をつくらせウインカーを出せと促す

道路の改修 5件

- 道路の改修
- 路面凍結前に除雪車投入と凍結防止剤散布（初動対応を素早く）
- 高速道路の規制されるとが多い

娯楽施設 8件

- 郊外にレジャーランドをつくる
- 仙台駅近郊以外の娯楽施設
- ベネーランド廃業＆新規レジャー施設
- 遊べるエリアを駅周辺以外にも作る一人の過密化を抑える

地下鉄 18件

- 学生は地下鉄半額にする制度
- 地下鉄をもっと海側まで延ばして利用者を増やす
- 地下鉄をはりめぐらしバスの台数を減らしていく。
- 地下鉄利用でポイント10倍

自転車 21件

- 自転車通勤補助金→渋滞対策
- 自転車専用道路を作り、自転車を優遇
- 自転車の駐輪場を増やし、料金を安くする
- 地下駐輪場をつくる
- 駐輪場が少なく原付や自転車が多いことを考えると無料の駐輪場も多くすべき
- 自転車通勤を増やすために電動自転車補助
- Date/バイクみたいなのをもっと大規模に行いみんなが手軽に使えるように
- 〇時間まで無料の駐輪場の整備
- 電動自転車の貸し出し台数を増やす

道路改修 凍結防止 5件

- 道路の改修
- 路面凍結前に除雪車投入と凍結防止剤散布（初動対応を素早く）
- 高速道路の規制されるとが多い

運動施設 5件

- 河川敷に運動場を整備
- 市営のスポーツ施設を中心部を作る
- 人を分散させるため郊外に何かをつくる
- 海側にニュータウンを計画する 大きい公園もジムも
- 公共施設を増やすことにより人の密集を減らし、市民交流を活発に
- 地下鉄東西線近くの発展性

イクスカ 2件

- ICSCA学割

バス 4件

- 広瀬、青葉通バス運行本数の増加

未来カルテ講義前の政策提言

タクシー 10件

- 中心部限定の簡易タクシー
- ウーバー導入
- タクシーの数を規制
- タクシープールの増設
- タクシーエリアをしっかりと決める

2017年7月13日 @東北大学大学院環境科学研究科

繁華街の治安美化 11件

- キャッチ禁止の条例を作る
- 繁華街の管理を重視する
- 国分町クリーン大作戦
- 24時間居酒屋を増やす

銭湯 6件

- 銭湯が少ない（市内）（スーパー銭湯など）ので、設置すべき
- 市内に銭湯（やすらぎの湯）
- 街の拡大と銭湯開発
- 銭湯作るうぜ計画 交通の便が比較的優れている地下鉄の駅付近に銭湯をつくります。

大学周辺開発 10件

- 八木山にコンビニ増やす
- 青葉山の開発（飲食店など）
- 東北大学川内キャンパス近くに飲食店やカラオケ、雀荘を誘致する
- 学校の始業時間を一時間遅くする

その他 5件

- プロパンガス→都市ガスの整備
- 夜間の警護（住宅地周辺）
- 空き家をつぶして何かする

ごみ分別 6件

- ごみを分別しやすくする それ用の回収箱をゴミ捨て場に設置するとか
- ごみの分別を徹底し、焼却コストを減らして、ゴミ袋を安くする
- 有料ゴミ袋を廃止して、分別を促す

いちよう 9件

- 秋も路面の清掃を行う
- 銀杏をフルーツの木にして観光地化
- 銀杏対策 落ちる、落ちた頃に清掃、あらかじめ摘み取り
- イチョウの木の伐採によりや減少させる

くま 2件

- くま倒した人に賞金

広報 4件

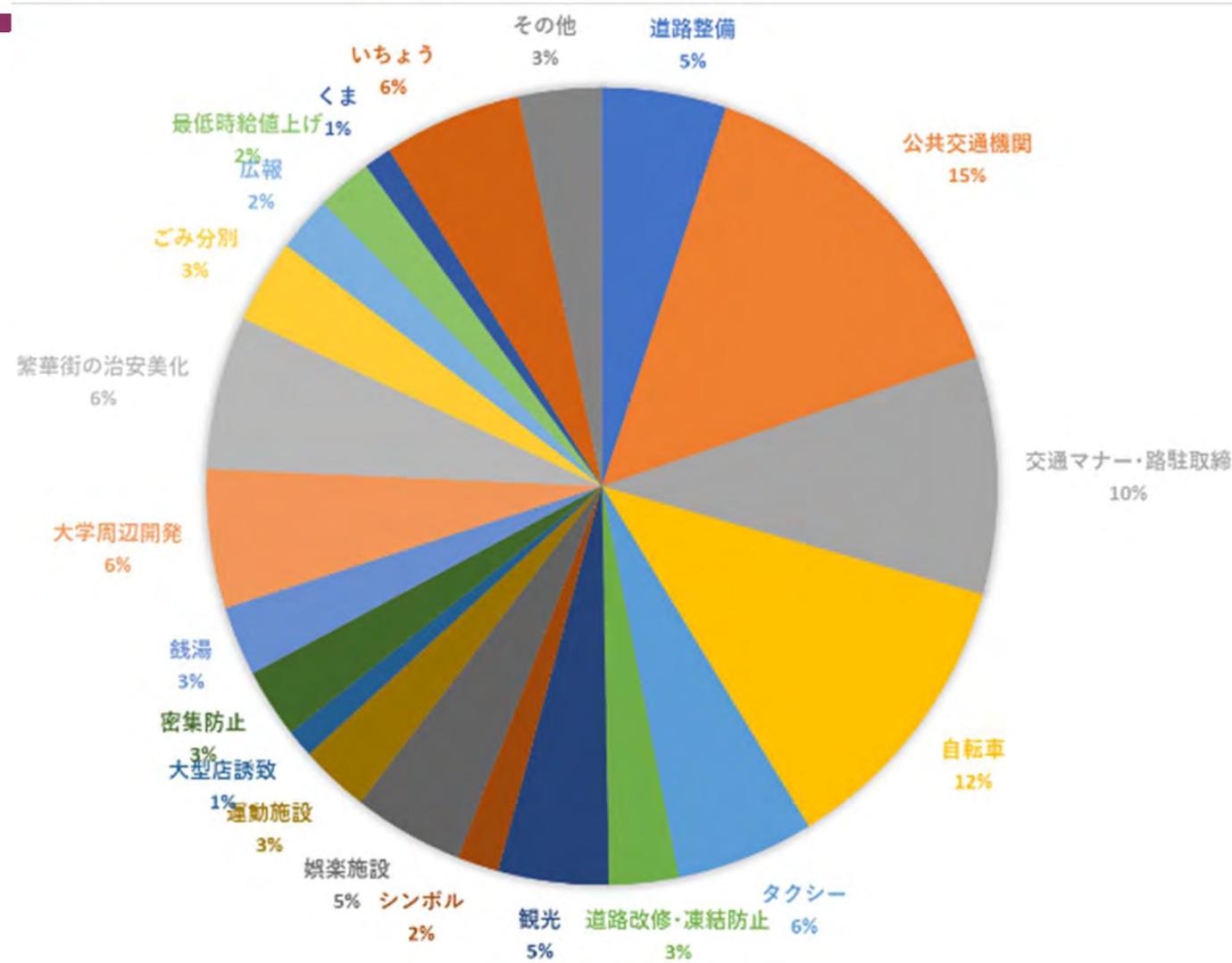
- 新キャラに賞金
- 知事のパーターをつねにサンドイッチマンにして宮城をアピール

最低時給値上げ 4件

- 仙台市の最低賃金を1000円にする **18**
- 最低賃金の引き上げ

未来カルテ講義前の の政策提言

- 現在の自分の生活領域の利便性の向上に主な関心がおかれている。
- とくに交通関係が約半数を占めている。
- 燃料電池など環境関係の研究をすすめている大学院生も多く参加していたが、その内容は政策提言に反映されていない。



人口

4件

子どもを産んでもらうために2人以上子どもがいれば税金など安くなる

安楽死 3件

安楽死

子どもを育てやすいように補助金や保育所の充実

子どもための安心安全の街作り+公園を増やす+保育・幼稚園

保育 7件

4件

結婚補助金

ふたりっこ 4件

税・補助金

4件

結婚補助金

ふたりっこ 4件

安楽死 3件

安楽死

子どもを育てやすいように補助金や保育所の充実

子どもための安心安全の街作り+公園を増やす+保育・幼稚園

保育 7件

公共交通

3件

公共交通網の充実（特に、バス、電車；車減らす）

バス路線の一日当たり乗車数の一定基準を下回ったらデマンドタクシーに転換する

車とか原付とか交通手段のシェア

住みやすく就業しやすくなるため地下鉄新設など郊外へのアクセス(車以外でも)をよくする

新幹線の割引(観光地としてのアピール)

原付

3件

原付免許を持てる年齢を引き下げ、多くの子どもが多くにある学校に行けるようにする

教育

17件

教育一人当たりの生徒数が減るので、教育を充実(少人数教育など)

学力ごとにクラスを分けて、学習の競争を促す

シニアスクールの設置(保育士余りの改善、保育士=子どもを世話するという概念の変化)

小学校・中学校統合→校舎の病院とか グランドの農地

学校の開いている場所時間を使ってジム？ 若者向け、高齢者向け

保育/教員のあまり出生率低下→子育てしやすい環境作り、育休、補助金など？

教育者を減らして他の職に就く人数を増やして生産性を高める

保育士・教員に介護士の資格取得の補助

教師の数を減らしてその分を介護へ

若者

14件

学校で仙台に魅力があることを示し、若者に仙台に残ってもらう。

新卒に対して住居や奨学金返済の補助手当を付け、仙台への生産年齢人口を増やす

若者が仙台から出て行かないように 娯楽施設を充実させる

人口減・若者の地域事業への参加を促す→帰属意識

若者向けの街コンをより多く企画

移民・転入

10件

移民の受け入れ 0~50歳の外国人受け入れにより生産年齢人口を増加させる

外国人労働者の受け入れ

人口の増加のために他県からの転入を薦める 職の紹介や住宅など

教育

17件

教育一人当たりの生徒数が減るので、教育を充実(少人数教育など)

学力ごとにクラスを分けて、学習の競争を促す

シニアスクールの設置(保育士余りの改善、保育士=子どもを世話するという概念の変化)

小学校・中学校統合→校舎の病院とか グランドの農地

学校の開いている場所時間を使ってジム？ 若者向け、高齢者向け

保育/教員のあまり出生率低下→子育てしやすい環境作り、育休、補助金など？

教育者を減らして他の職に就く人数を増やして生産性を高める

保育士・教員に介護士の資格取得の補助

教師の数を減らしてその分を介護へ

未来カルテ講義後の政策提言

2017年7月13日 @東北大学大学院環境科学研究科

まちづくり

22件

住みよい街作り 道路を広く、緑を植える

地下鉄の駅近くの家、マンションに入々を促すようにする

スポーツ、アクティビティの活性化と情報発信

運動場、公園と一体となったコミュニティづくり

保育施設への投資は中心市街地よりも郊外への投資を重視する

住宅街周辺(家賃安いところ)にもレジャー施設やスーパーなどを増やす

労働環境

5件

就労者の働き方改善(定時退社、効率改善、自宅介護の促進)

賃金の向上、現在、低賃金の職の給料を上げる

就業構造

3件

将来不足すると考えられる仕事の給料と待遇を良くし、過剰に思われる仕事の条件を下げる

再エネ

29件

再生可能エネルギーの利用割合の増加

再生可能エネルギー開発導入への補助金

燃料電池による自然エネルギーの利用を広げていく

風が強いことを活かして風力 海があることを活かして潮力

太陽熱エネルギーを使った熱化学サイクル技術の導入

バイオマス熱利用に着手する

バイオマス発電への参入を農家とともにとりくむ

水素社会実現のためのプラットフォームづくり(燃料電池、電気分解をコアとした社会の実現)

再生可能エネルギーの積極的導入導入促進(市独自の太陽光パネル、蓄電池助成金)

空き家や空き農地をつぶして太陽光パネルや風力発電機を設置

長期間使われない空き家を解体し、その跡地にソーラーパネルを設置できるように促進する

産業

6件

産業の活性化 企業の補助金を出す

ICTの導入により労働生産性向上(とくに第3次産業)

産業機械の開発に視点を向けた教育

公共施設

6件

公共施設の集約化

公有財産→未使用施設、空き家の利用 介護、医療施設に回すとか

集約化

5件

住宅を集めてムダな土地を減らす

集合住宅を増やしてインフラ整備をしやすいとする

使われない道路を廃止していく。

住宅シェアリングなど新たな価値創造(遊休資産の有効活用)

シェア 3件

建設業はインフラの改修などで必要 補助金を定期的に購入するよう資産運用

介護施設

9件

保育園を老人ホーム化

空いた建物を老人ホームへ改修

医療、介護施設・設備従事者の増加

病院 2件

病床施設を増やす、もしくは介護受給者のための大きな施設を郊外に作る

在宅介護の充実 医師を増やす 要介護等基準の明確化

健康維持 8件

健康な人を増やす(病院の自費化(生活習慣病)、たばこ税)

イキイキ運動によって自立させる

日頃の活動によりボケを防止し、施設に入らせない

高齢労働 9件

高齢になっても働ける人、働きたい人への仕事紹介

高齢の労働者を大切に(賃金、環境等)

定年の年齢を引き上げる脳トレによりボケを抑える

お年寄りがアルバイト(仕事)しやすい社会環境作り

65歳以上の人の社会貢献

介護士待遇改善

9件

介護士の資金向上

介護士の支援を厚くし、介護士になりたい人を増やす

介護職の待遇向上、施設整備の充実

医療、介護従事者の待遇改善

介護人材育成 9件

介護を学ぶ人のための奨学金

介護士や医師のための助成金を目指す学生への無利子の奨学金

医療、介護の資格を取りやすくする

介護学校を増やし、増加する要介護者を助けよう

介護士待遇改善

9件

介護士の資金向上

介護士の支援を厚くし、介護士になりたい人を増やす

介護職の待遇向上、施設整備の充実

医療、介護従事者の待遇改善

介護人材育成 9件

介護を学ぶ人のための奨学金

介護士や医師のための助成金を目指す学生への無利子の奨学金

医療、介護の資格を取りやすくする

介護学校を増やし、増加する要介護者を助けよう

高齢者向け施設

5件

65歳以上の医療負担費を増やす

高齢者に対する医療費が高まるため年金を減らし医療費に充てる

生活習慣病等の医療費一部自費化

たばこ税の増税(健康寿命の増進、病床数の改善)

医療費 6件

高齢者の知恵を吸い出す

交通

6件

高齢化に伴って事故が増えるので、交通マナーの改善、タクシーの整備

高齢化に伴い公共交通機関(特にバス)の発達

介護ロボ 4件

介護従事者が増加すると少ない生産人口がもたないでロボットの導入を促す

高年齢化

3件

定年後の農業支援 ポケ対策 農業へ

農業の雇用を促進アピール

副業農家の推進、補助金

農業従業者数の減少対策として農業従業者への補助金制度を創設

農業、林業のための海外に負けないための支援や補助、相談所など

国際木材チップの優先買い付けにより林業従事者の収入を増やす(バイオマス燃料用)

従事者支援 7件

農林業

35件

ブランド化 5件

宮城発の農業会社 農業強化宮城ブランド

宮城県産作物のブランド方向に向けたPR活動の強化(農業人口の改善)

学校教育で農業体験 農業に関する教育

農作物、加工品(酒)の海外輸出促進

食料は輸入に頼るものは頼る

農地を無料で貸し出し共同で農作物を作ること、耕地を守る

農地 3件

技術性が高い機械を農民に推薦して効率を上げる

農地(更地)を市が買い取って大規模な耕地をつくり人を雇って働かせる

農地の後継者に補助金

農家で跡継ぎを募集しているところは仙台市が代わりに広告活動をする

後継者 6件

効率化 5件

農地(更地)を市が買い取って大規模な耕地をつくり人を雇って働かせる

田んぼを壊さない

その他

7件

大人向けの食育

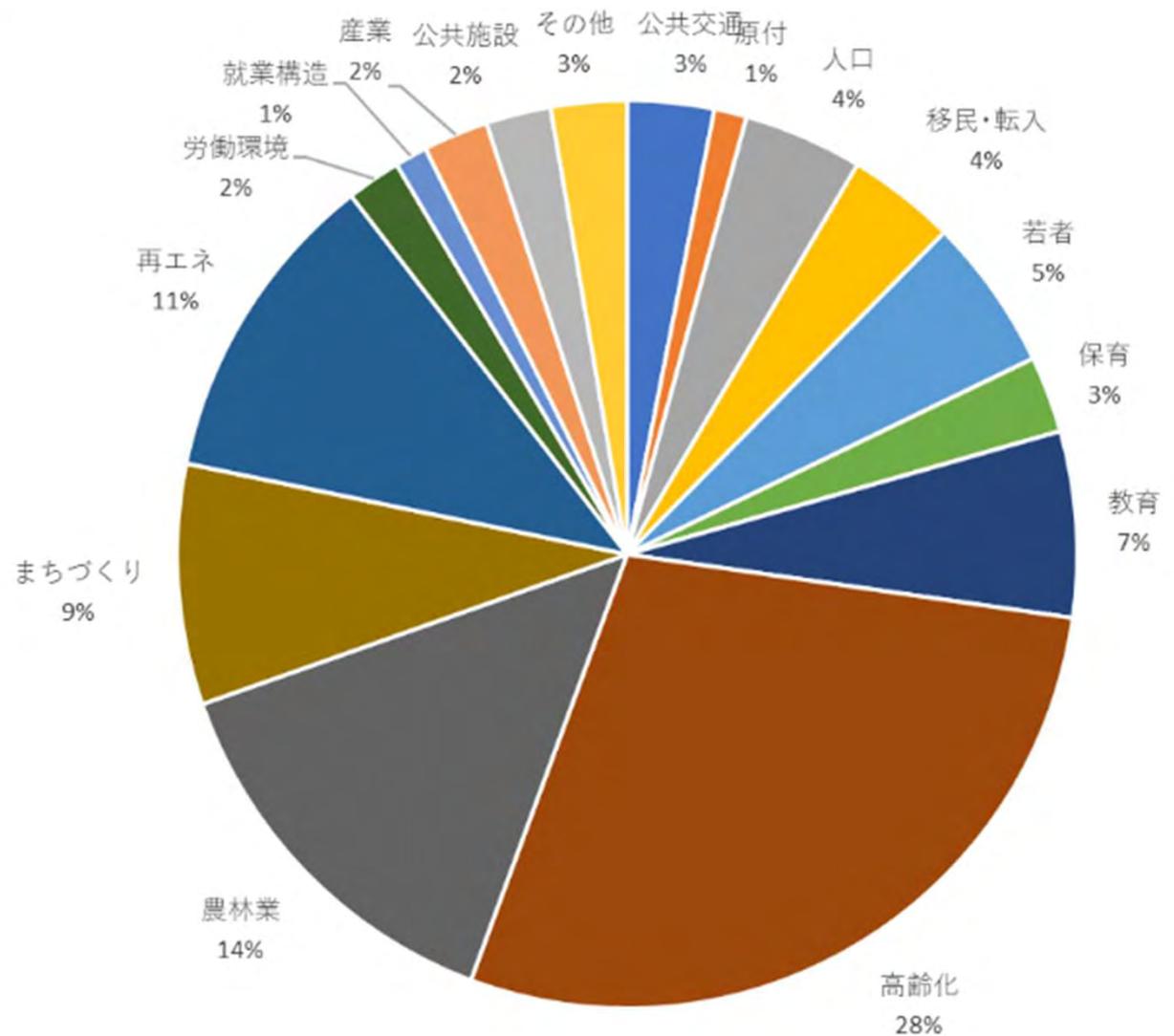
キャッチフレーズ「田舎でのびのび」

他市の連携協定をつくる

大学院生41名参加7班に分かれて実施(色は班を示す)

未来カルテ講義 後の政策提言

- 将来のことを考え、また、さまざまな世代や産業のことを考えた政策提言に進化した（時間的視野、空間的視野の広がり）
- 自らの研究分野（エネルギー）にも絡めた提言が行われた
- 高齢者増加を踏まえた交通整備、若者に仙台の魅力を伝えて人口流出を防ぐなど、交通・若者に関する提言も公共性を帯びたものになった
- 分野間をまたがる提言が行われた



未来カルテに触れることによって公共的な政策提言に進化した。

未来ワークショップの開催実績



未来ワークショップは全国に広がってきている。新型コロナウイルス対応として、参加者が現地で集まるもののファシリテーターはオンラインで実施する「半リモート」、参加者もファシリテーターもオンラインで実施する「完全リモート」型のワークショップも実施している。

カーボンニュートラルシミュレーターと組み合わせた脱炭素未来ワークショップも実施している。